

TAKAMATSUプロジェクト 2学年 ～Make your dream take wings～

目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。
 ※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活かせる教育活動を行う。

（学力があつてこそ進学、人間力があつてこそ学力）

- ・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示と調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
- ・職員会議で、事前目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
- ・生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得など）

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

学年	学期	キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)			指導 コマ	教科学習・ 考査・校外模試	サクセスプラン (日々の学習)		支援 中下位層		
		全校	学年	概要・目的 (生徒視点)			教師の活動	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	上位層	中下位層
2 年 次	4月	上旬	新年度村コンテツション	2年生としてどのように生活し学習していくか決意。	新年度心得、学習、探究、生活、生徒会等（正副担任）	4/4 英力テスト	2年スタート時点の学習状況、内容定着の確認	目的 (教員視点)	講師別授業の円滑なスタートを支援。		
		中旬	進路希望調査(スタサポ)	1年次の学習を振り返り、自己の将来像に向けて考える機会とする。	生徒の進路意識を把握し指導に反映。	4/5 英力(レポート)			「中だるみ」傾向をふまえた声かけ		
		下旬	進路希望調査(スタサポ)	主体的・協働性の育成、学習習慣と学習時間に対する意識の醸成	参加の呼びかけ					60の有効活用を促す。	
		個人面談	進路目標を再確認し、目標の実現に向けて生活(学習)習慣を振り返る	個人面談、生徒の進路希望や生活状況を個別に把握				学習習慣の再確立	理科・社会も含めて「学習・授業・復習」のサイクルを維持・定着させることの重要性を意識させる。		
	5月	上旬	進路講話	キャリア学習、進路決定の見直しを確認	3年次の進路決定までの流れを確認、学習サイクルの見直しを促す					現表・履学的びなに向きか・う理安解にの留纏まらなぬいす、思考判断表	に生向活け習・慣課・題学習整習慣の確立を支援し、家庭連絡日
		中旬	探究活動	探究ゼミと自由テーマ講座に分かれて探究開始テーマ決定：自分の興味・関心を深掘りする調べるときを明確化・具体的な調べ方を明確化	探究活動1年間の流れを示し、生徒が自ら調べて柔軟に評価						
		下旬	南信総体	具体的な成功・失敗体験を聞くことで進路意識を深め、学習に還元	1・2学年で連携し、年度ごとの状況に合わせて柔軟に評価						
		PTA総会 クラスマッチ	学年PTA		進路学習指導についての学校のスタンスを保護者と共有						
	6月	上旬	県総体 芸術鑑賞	教養醸成、主体的・協働性の育成							
		中旬	北信総体								
		下旬	高松祭	主体性・協働性の育成							
		家庭学習 重点週間									
7月	上旬	信大説明会	改めて地元国立大学の講義・説明を聞くことで学部学科のイメージを広げ、具体的な志望校選定の参考とする	進路希望を教員中心に企画、担任を通じて生徒に周知し、希望を取りまとめる							
	中旬	進路講話	オープンキャンパスに参加する目的や意義を再確認	夏休み期間中のオープンキャンパス参加を促す							
	下旬	科目選択説明会	3年次科目選択の理解の導入	秋以降の科目選択を見越して、必要な情報を早めに学ぶよう、生徒の主体的判断を促す							
	保護者面談	学習の振り返り、進路目標の再確認	進路目標を共有し、具体的な行動目標を提示								
8月	上旬	夏の各種体験 オープンキャンパス 職業体験 看護体験 ボランティア等	計画書、報告書提出。自分の進路に合わせた個別のオープンキャンパスや職業体験で視野を広げる	生徒が主体的・意欲的に活動できるように支援し、必要に応じて個別の主体的判断を促す							
	中旬										
	下旬										
	家庭学習 重点週間										
9月	上旬	探究活動	中間発表：現状のとれと方向性の確認。講義内で発表し、質問を仕出すことでの適切な問いの立て直しをする。	探究の計画を確認し、今後の展望と合わせて問いの立て直し、および研究を深めるアドバイスを行う。							
	中旬	科目選択説明会	3年次科目選択の知識・理解、希望進路および大学入試の流れの理解をふまえながら、建設的な選択へ	科目選択と、それに連動する進路活動の見直しについて説明。苦手・弱みの消極的選択にならないよう、前向きな検討を指導。							
	下旬	9/26 社会人講話	社会人の方のお話を聞き、職業観を醸成するとともに大学の先を見通したキャリアを考える。								
	家庭学習 重点週間										
10月	上旬	終始式 クラスマッチ	主体性・協働性の育成。								
	中旬	教育懇話会	学年PTA 講演	修学旅行、奨学金説明会を計画							
	下旬	面談週間	前開成績・取り組みを振り返る 志望・系統を固める	個人面談、次年度選択科目が志望系統と合致している小確認							
	家庭学習 重点週間										
11月	上旬	修学旅行事前学習	平和学習、探究学習	修学旅行が学習内容を深め、広げる機会となるよう支援する。							
	中旬	小論文模試①	課題文型 字句に沿って、現代社会の問題も読み込みながら自分の考えを論理的に記述できるような力を育成	学習係を中心に教材を選定。							
	下旬										
	家庭学習 重点週間										
12月	上旬	修学旅行	平和学習、社会理解、大学見学	修学旅行係と計画							
	中旬	進路講話	受験生への意識変革	今後1年間の見直しを示す 学習意欲が低下しがちな時期を支える							
	下旬	保護者面談	受験生としての意識をもつ	受験情報共有 科目選択の生徒・家庭の意向最終確認。							
	家庭学習 重点週間										
1月	上旬	慰霊式									
	中旬	大学入学共通テスト 小論文模試②	リライト 小論文模試①の活用をふまえ、自己の思考を正確に文章に表現する力を育成	3年次に向けた課題の確認と指導力策画。 入試を超えた一般的な記述力という観点でも検証							
	下旬										
	家庭学習 重点週間										
2月	上旬	探究活動	探究まとめ、得た情報と示したい情報の明確化 整理分析方法の明確化 分析と解釈	引用しておしまいにしないよう、複数の情報を目的にあわせて比較、関連付け、構造化させる							
	中旬	探究発表準備	探究発表準備：課題に対して言えること（主張）を作る 発表形式を決め、資料を作る	主張を支える根拠、根拠に偏りがいないか等、客観的な評価指標を提示							
	下旬	探究発表	形式自由、クラス発表：主張を正しく相手に伝える 探究の内容、過程について振り返る	声の大きさ、文字の見やすさ等、発表の評価指標を提示							
	家庭学習 重点週間										
3月	上旬	卒業式	形式自由、学年発表：主張を正しく相手に伝える 探究の内容、過程について振り返る	クラス発表時の課題を修正し、全体発表に向けて指導する。							
	中旬	特編授業	学年成績 1年間の振り返り 次年度の計画	後期通知書 3月～3年次の学習が円滑にスタートできるように特編授業を計画する。							
	下旬										
	家庭学習 重点週間										

